

杏花里在宅介護支援センター

《運営・処遇方針》

【私たちの使命】

杏花里在宅介護支援センターは、利用者と介護者（家族等）を軸にした生活を維持する為に自立支援に向け本人の「強み」「自信」を引き出し、背景を分析出来る専門職として、聞き取る力、視野を広げるように努めていきます。多様化、複雑化する課題に対する取り組みを促進する観点からヤングケアラー、障害、難病、生活保護、虐待疑い等の他の制度に関する知識を身につけ相談事に対し、柔軟性を高め、問題が解決できるようスキルアップしてまいります。

民生委員や自治会、地域の活動団体、住民などの社会資源・医療・障害福祉などの様々なサービスを適切に提供できるよう顔の見えるネットワーク構築に尽力してまいります。

【私たちが提供できる価値】

自立支援・重度化防止の支援に尽力するためにも、多職種や行政、包括との密な連携を図っていきます。また、BCP（災害、感染症）作成だけで完結せず定期的な職員間での周知、情報収集・共有を行い災害時等に的確に対応できる体制づくりを行ってまいります。

虐待についても担当者を中心に研修や訓練をおこない予測を含めた考える介護を意識し敏速な対応ができるように努めます。

（主任介護支援専門員）

主任介護支援専門員は、介護支援専門員に課題を解決する手法や指導できるよう、自らの経験や知識を含む資質向上をする事が重要と考えております。また、人材育成として介護支援専門員実務研修の研修を受け入れ、これからの担う人材を育成していく使命があります。

介護支援専門員への指導力や地域との連携など俯瞰できる視野で課題をとらえて明確化し、個人の認識のずれやその根拠は何なのかを発見・気づきができるよう介護支援専門員と一緒に分析し、利用者の住み慣れた環境で「尊厳の保持」に対して真摯に支援ができるよう努めてまいります。

（介護支援専門員）

各種事業所や医療との連携を図り身体の状態変化に合わせた支援が敏速に対応できるように利用者の声、家族の声に耳を傾け、寄り添える関係を構築していきます。

背景を分析できる専門職として傾聴力、まとめる力を高めてまいります。

毎月のeラーニング研修を活用してトラブル発生時を想定しながら丁寧、理解しやすい説明を目指していきます。

【年度終了時の展望】

昨年度の介護保険改正についての情報を周知し、eラーニングやZOOM、対面研修、ICT機器等を活用し適切な支援を引き続き目指していきます。電子的記録を活用し、事業所内外でも観覧・共有することで一人当たり担当件数40件の月平均実績を直近の目標として利用者、家族に丁寧に向き合うことで利用者、家族及び他機関からの信頼を得られる事業所として役割を果たしてまいります事を約束し令和7年度杏花里在宅介護支援センターの事業計画、運営処遇方針とさせていただきます。